

勝山市報

主な目次

- ◇定例市議会11日～30日開会.....(2.3)
- ◇成人おめでとう.....(3)
- ◇穂首イモチ病防除について.....(4)
- ◇おかあさん教室「通学票の見方考え方」.....(4)
- ◇石塚さん表彰（白菊婦人学級）.....(4)
- ◇富田さんの美挙.....(5)
- ◇祝福される「はたちの人たち」.....(5)
- ◇85年度共同募金の成績.....(5.6)
- ◇消防車の受納.....(6)



ご成人おめでとう

<写真は成人式に祝福される「はたちの人たち」記事五面参照>

道路を守る月間
 3月10日～4月10日
 福井県・勝山市・福井県道路協会

市の人口と世帯数
 3月1日現在（住民登録）
 男 18,520人（6人増）
 女 20,690人（4人減）
 計 39,210人（2人増）
 世帯数7,707戸（8世帯減）
 「註」（ ）内の数字は前月比

タバコは市内で
買いましょう
 勝山市

定例市議会 11月30日開会

新年度一般会計の総予算額は

三億三百二十四万円

本年度における最終定例勝山市議会は去る十一日開会、四十四議案を上程、これを慎重審議するために会期を三十日までと決定、本議会の初日に市長より新年度予算案の概要について、くわしい説明がありました。が、その主なるものは次のとおりです。

市長説明要旨

一、総説

新年度一般会計歳入歳出予算の総額は三億三百二十四万円で、三十五年当初予算二億七千四百二十九万九千七百円に對し二千八百九十四万三百円の増加を示しているが、歳出増加の主な原因は、三十五年の予算外義務負担額二千九百二十六万八千円を新年度歳出予算にくみこんだことと公債の元利償還が新年度は頂点に當り、三千九百六十九万六千六百円の巨額に上ること、ならびに給与改訂などの影響によるものであります。この歳出増加にともなう財源は、投資的専業もせいぜいとり入れて積極方針のもとに運営を図って、国、県の助成と起債の獲得につとめました。いかに財政難とはいながらも、税率を引上げたりすることは、なるべく避

け或は立木の売却を見合せするなど又、税率などは一部引下げを断行して一面經常支出において、出来る限り節約につとめ収支予算の均衡を図りました。

二、歳入の概要

新年度予算総額のおもな増減は市税面では経済界の好況などにより収入増二千五百万円を見込み、地方交付税は、本年度普通交付税の未納などを考えて二百萬円の増とし、財産収入は、住宅売却などによって百万円を増額計上しました。

市債においては教育債および消防庁舎建築債などのため二千二百四十二万円を増額計上したほか、五民年金関係、転賃債納付金その他の収入額、七百八十餘萬円の増収一方災害復旧工事減少などのため国、県の助成金、負担金の減収

このほかに立木の売却を見合せたことによる造林会計から繰入金金の減額などにより三百三十餘萬円の減収となり、結局増減差引、頭審のとおり、二千八百九十四萬円の増収となつたのであります。

高、減税計画は、低額所得者の市民税の所得割税率を若干引下げるとともに四人以上の扶養親族には控除額の引上げ、又農業機械化の促進の一助として、耕種機の税率を引下げ、或は小型自動車の税率の引下げするなど、総額三百五十萬円の減税を図つたのであります。

三、歳出の概要

新年度において二千八百九十四萬円の増加の主なるものは、一連

1 消防署の設置

これは新規事業であつて県下七市中、消防署の未設置は当市だけで、消防署設置の前提として、先づ昭和三十六、七兩年度にわたり当庁舎を新設し、現在の市庁舎の延長の拡充の意味も含めて建築計画を進めその所要経費の新年度分は、七百六十餘万円を計上したのであります。計画としては、総工費約一千五百萬円で市庁舎の敷地内に鉄筋三階建延約二百坪の堅牢な建物を建設する見込みであります。

2 建設関係

(イ) 一般土木事業は約五百萬円を増加して、総額約九百萬円を計上し、うち道路新設改良費に二百九十萬円を繰り込み、必要性の大なる所から改修の予定、又橋梁新設改良費として約二百七十萬円を見込み、大島橋外敷橋を永久橋に架替えることとする。街路舗装費も二百八十餘萬円を計上して必要箇所の舗装を行いたい。

(ロ) 道路、橋梁、河川の維持修繕として約五百萬円を大中に増額し総額八百二十餘萬円を計上しダンプトラックの購入と道路常設夫の増員ならびに管轄補修のため大工の常備を新規に計画するほか原材料費、請負金などもそれぞれ充実を図つたのであります。

(ハ) 都市計画事業については福井精練勝山工場前の街路舗装費に、又大蓮寺川改修工事など、計

八百三十餘萬円を計上し引続き施工する外新規に長山公園の整備に百八十六萬円を投じて着工する予定。

(ニ) 災害土木費は、三十四年度災害の残事業として山形橋ならびに妙金島線の復旧のため一千二十餘萬円を計上しました、この外畔川、鶴崎、比島、保田、北郷地籍などの災害復旧については国又は県の助成によつて新年度に着工される見込みであります。

外に、国道、金沢岐阜線の女神川より大渡に至る間の道路新設、および沢、本町間の改修残工事は新年度中に実施の予定で、国、県の事業費決定をまつて市負担金を追加計上する予定であります。砂防事業についても、新年度で舟財天川第二ダムを始め、野津又川など二、三箇所の実施を図りたい。次に勝山橋、荒鹿橋の二大改良工事も同、県の配慮によつて、いよいよ着工を見るに至つたので、遠からず新橋の実現を期待し得られることは、当市発展のため、まことに喜びにたえない。

3 教育関係

学校教育内容の充実に上を因るため、必要経費の大市増額、中学生徒の急務対策として経費六十餘萬円を計上し又、社会教育面では選羽公民館の新築の必要を認め、五百萬円を計上し、施行に當つては国の助成及び起債の確保をまつて着工の予定であります。 ※ 上の写真は市長の予算案説明



の給与改訂、その他の増加などによります。

4 農林関係

耕地費を本年度より着手した新大用水の修繕施工と大用水その他用水対策工事などのため所要経費約六百五十万円を計上して懸案の事業を実施或は三十五年度に施行した区画整理などの耕地事業に対する市助成金百五十万円を計上しました。畜産奨励では、従来家畜導入の助成、牛一頭につき二千円から三千円を交付していたが、新年度から家畜導入資金の三ヶ年利子補給を行うこととし所要経費二十余万円を計上。農業振興対策

成人

人の日はあなたがた一人一人のためにあるのである。成人として、一番先きにもつものは選挙権である。選挙権をもち政治に参与する権利を与えられたということは立派なおとなとして、一人前の社会人として社会が迎えるということである。権利のみを得たのではなく、責任と義務をもつものであることを忘れてはならない。

「いまの若い人は」という言葉を年長の人がよくつかう。自分たちの若い時代にくらべて、おとついているというお叱りの前書のような意味をもっているが、これは必ずしも正しくはな

などにも必要経費の計上をしまし、民有林の造林については新年度から新たな助成対策として五畝以上一反未満の造林につき三割の助成を行います。又農道、林道の内、その適当なるものは調査の上、市道に編入する予定であるし、林道関係の構築についても政府の援助を受けて実施したい。

5 商工関係

商工振興対策費を増額し、昨年より実施した店舗改装資金は新年度において新規貸付分二百万円の

い。年長者の青春への郷愁からひがみの意味もふくまれていて、マンガにでてくる意地悪るちいさなような見方をしているのではないかと反省させられることがある。

そ

ういう反省の上でいうならば「いまの若い人は」

6 その他

そのほか民生関係、保健衛生関係、特別会計、などありますが、紙面の都合で省略します。とにかく新年度予算は、前記のとおり予算外義務負担金の予算化、公債の元利償還金の巨額などで年度の財政難に再会したが幸いにも経済界の好況などによって相当額の市税の自然増が見込まれることと、諸

見ひらいてものをよく見ている。ところが自分自身についてはどうか。政治に対しても社会に対して、またおとなに対しては権利を声高く主張する。また声を荒くして非難する。けれども義務や責任については考えていないのではないかと。この点、若い人たちが自身反



新しむ勝山市の歴史を待たせよう

実ははっきりしている。ハキハキとものをいうその純粋さと、正義感には教えられるところがあ、またうらやましいと思うことがある。いっほう、こういう批判もなされるのではないだろうか。「いまの若い人は」目を大きく

省すべきではないか。ここに、トレーニングをおこなってはならぬという好意ある批判が生まれてくるのである。青年はその国の将来を約束するシンボルであり次の世代をなう推進力であると、いつの時代でもいわれているのであるが、今日においては特にそのこ

事業に対する助成など、及び経費の節減に極力意を用いた結果、市有立木の売却をせず小額ながら減税の措置をとり収支の均衡を保つことを得られたのであります。尚、合併以来多年の蓄みであった赤字財政も三十六年度をもって財政再建計画を終ることとなり再建の償還年額一千五百二十万円余が不要となり、この分が、三十七年度よりは更に積極的な行政水準の向上に振り向けられるので勝山市は前途に明るい見通しを期待出来るものと思えます。

とが強調される。それは戦争とか敗戦ということを経験として知らない人たちであるからだ。この人たちは戦争がなかったという事に大きな期待がもたれるのである。

こういう観点から私は「平和で文化的な国をつくるのはこの人たちをおいてはならない」と断言してもよいと思うのである。

ようから約八百人の新しい若い力が勝山市の街づくりに参加するのである。この力がひとつにかたまると、勝山市の歴史が新しく書き換えられるにちがいない。きょうの日を祝福し、はたちの主人公に、希望をたくすものである。

勝山市長

春の火災予防週間

3月25日から—4月7日まで

燃える火は心のすきを待っている

- 1 工場や学校のように大層な物では防火管理の責任者を定めて火の元を厳重に取締りましょう。
- 2 各家庭では電線、煙突を絶えず点検し、一家揃って火の元の始末を完全にしましなう。
- 3 山火を起さぬよう林野では焚火は止め、又たばこの吸いがらに気を付けましょう。
- 4 火事を発見したときはすぐに消防へ電話をすること。その次に近くの小型ポンプで迅速に消火に当ることです。
- 5 留守中は火気を必ず消しておくことが大切です。
- 6 早めに雪がこいの「かや」や薪類を取除きましょう。

農事

北野 津又 水野 忠 義 (現す)

私たちの研究

穂くびイモチ病防除について

三方が山に囲まれ僅かに耕地が転在している山間冷水地で高低差の大きい風通しの悪い、イモチ病の発生地帯で用水も農道も完備されない恵まれぬ所です。このような条件の中で平均並の反当収益を計るには技術と努力面に於いて非常な努力を要します。そこで減収の原因について調査二十一名が研究会を開き検討の結果、穂くびイモチ病防除が重視されなかつた点を反省し、本年の研究項目としました。(毎年部落の穂くびイモチ病による被害額

八十万円)八月下旬(出穂前)はタペユの収穫乾燥と並行し努力が無理がかかるので部落全体としても在来種及び山陰十七号らの安全品種に頼る結果となり多収品種の栽培が伸びない原因となつています。そこで水銀粉剤(セレン石炭、クミマイ水銀一七%)、クミマイ水銀三五%、フミロン、マツプ(注)を使って品種はフタミノノリを選び播布時期及び撒布回数について試験をしました。その結果一回撒布(穂期期反当四区)ではクミマイ水銀一七%、次いでクミマイ水銀三五%が良く二回撒布では(安もの25%、特等品5個は15円、あと20個は10円、安もの20個が8円)のこりは一皿いくらとする(小中学校の教科の5.4.3.2などで相対評価といえます)。



おかあさん 教室

通信票のみ方を、りんごにたとえて、のべてみましょう。
○色、形、味そのものから一、二等をつける品評会などのやり方(行動の記録のところにかいてある絶対評価で特別教育活動などから取りまします)

○小売店で、ひとかご百個、平均10円よりとすると、まず10円ものを50%、それに比べて上もの25%といます。
○りんご畑で、この木は昨年40kgだから今年50kg出来て25%増である。この木は変らないなどと考

通信票のみ方、考え方

考え方、考らんに

考らんに

考らんに

考らんに

前比べてよくなったかどうかとかいてある(発達の評価)。
○同じように管理係、育樹係の考えような、この木としては40kgで十分だ、この木としては50kgとれねばならぬと考える(備考らんに「よくやっています」「まだたまりません」とかいてあることで、子どもの持つ知能力に比べてかく能力評価です)。

このように、子どもの評価は、五つの見方からいたします。以前は、絶対評価一つでやりました。35点80点などが、それでは、人間をつくる教育の評価としては大へん危険であることが、身にしみて感じたからです。点数のよい子

がけつして、よい子ではありませぬから。
また、評価の対称も、国語、算数などの教科だけに限らず、特別教育活動や、学校行事や、道徳の面もとり入れて、ひろく角度をかえて、長い目でみるようにしていきます。
ご父兄の皆さんもこの考え方に立って、ひろい意味での勉強に協力して下さい。お願いします。
このように、土台をしっかりとついで、上へ上へ、せまい意味での学力の充実に力を入れなければ、せっかくの正宗の名刀も、人を殺す魔劍となってしまうでしょう。
勝山市教委、学校指導主宰 沢田治衛 V

ふやしてください
あなたのさくらさん
勝山市町普通運動推進協議会



石塚さんを表彰

白菊婦人学級

勝山公民館では、文部省の委嘱をうけて白菊婦人学級を市内工場に働き主婦を対象に、昨年五月から開いてきたが、このほど終了しました。この学級には約40名で毎月三回おこなって来たが最終までには十五名ほどで、産婦の練習、子供の叱り方、はめ方、おこすかいつえ方、くちくちいおあさん、子供の生活とわ、など女性地位向上や子供の育て方、あるいは母としての教養などを勉強してきた、おあさんたちは工場からの疲れた体もいとわず、寒い夜道をよく出席した。修了日には、楽しい映画を観賞し、また新年度もぜひ開いてほしい、などの希望もあり、当日は白木榎業場に働く石塚美代子(三才)さんが、当学級二十一回の学習のうち一回だけ欠席しただけで、働きながらも愛児、正幸(三才)ちゃんを健康に育て、又学級への出席にも家族が協力するなど、たゆまざる石塚さんの学習意欲にもえる努力に対し模範生として同公民館長の表彰があった。

写真発表会に出席する石塚さんと学級の仲間たち



富田さんの美拳

市の気の毒な家庭にさし上げて
くださいと、市役所民生課へ毎月
かさざ平治茶一八〇錠を届けて
こられる奇特な人がある。

その主は下後で読売新聞の直売
をしておられる富田武男(三十一
才)さんです。

こうした勤儉は戦時中、富田さ
ん一家は青島に在住していたさい
ある人から大変恩恵をうけたその

春の息吹き

ながかつた冬から解放されていよいよ勝山市の建設譜が今年も力づよく奏でられてゆ
くのだ…………… 写真はみどり青年学級生の乙女たち・勝山公民館前にて

成人式

3月21日

丁度定刻一時二十分
に整列完了すると同時に
に舞台の敷設(どんち
ょう)はスルスルと巻
き上げられていった。

これを迎える市長さんはじめ来
賓諸氏は、思わずからだをのり出
し拍手をおくって歓迎
する。

成器兩校、鼓笛隊の吹奏する軽
快な若ヶ代マーチのリズムにのっ
て、先ほどから会場入口に待機し
ていた、各地区ごとの成人は一せ
いに豁然と入場してきた。

勝山市は恒例の成人式を二十一
日(春分の日)、勝山中学校で成
人する七百七十四人(男三三三人
女四四一人)を招いて開かれた。
当日は、成人する日を祝してか
さわやかな小春日和にめぐまれ、
やわらかな日ざしが会場に流れこ
み成人たちの顔に浴びせて見るか
らに健康で美しく映えている。

福される「はたちの人たち」

市報編集部 参観記



ときの気持
が忘れられ
ず、せめて
自分も目こ
ろ困ってい
る家庭に出来る範囲で、このつ
くないをしたいと思います、さい
わい、現在実父の武三(五三)さん

が京都府下の宇治で茶園を経営し
て居られるところから、相談して
昨年の三月から始めたもので市民
生課では、毎月生活扶助金ととも
に、これを支給しているが、富田
さんの厚意に、援護家庭からは、
深く感謝されている。
写真富田さん

参観者一同 市報編集部 参観記

の顔が自然と
舞台に注がれる。

これから演奏と伴奏を担当する
NHK福井放送局の軽音楽は開幕
を知らせる。祝成人歓迎の曲を
演奏、晴れの会場にふさわしく、
いよいよ成人式に移る前の一とと
き「メロデー」は、唄う社会の動き
の贈りものが始まったのだ。

これは昭和十六年(注、今年の
成人は十六年生)より三十五年ま
での世代の変せんを辿って音楽と
唄と語でつづってゆく趣向である
らしい。

先づ同楽団が奏でる演奏がおわ
ると、時のトピックニュースにス
ゴットライトをあてて、これを解
説する人、南校校長の島田慶雄氏
は、ユーモアに話題をひもといて
少く、そのあい間を縫ってみんな
が知っている愛し親しまれた歌謡
曲「南の花嫁さん」など数々を成

人の中から選ばれて歌う人米蔵愛
子(兄弟会社長)、梅田弘子(下
後)、多田ひろ子(松文案)さん
ら、および今年度NHKのど自慢
県予選第二位の藤沢昭二(富田)
同席第三位の大下道子(沢)、池田
美晴(村岡町)さんらのゲストを
交えて交互に出演、美しいのどを
聞かせると、拍手と歓声とも声援
ともつかない、ムードが会場一パ
イにもりあがり、最後に「雪山愛
歌」を全員合唱するなど、熱演す
る舞台と成人たちを結ぶ、はなや
かなひとときを満喫して、ゆっく
り休憩に入り、そのほとぼりもさ
めたころ成人式にうつる。

白水教育委員長の式辞、記念品
(湯呑み茶わん)の贈呈に成人代
表の大山口光男君(北谷町)、引
続いて成人健康診断書を小秋愛子
さん(村岡町)が代表して受け、
次に、成人感想論文入選者第一※



写真はメロデーは唄うスナツツ

※府崎雄紀雄君(下長瀬)をはじめ(別項参照)五名の表彰があつて、このうち一席に入選した、鶴

崎雄紀君が、いささか、煩を紅潮させて日ごろの生活の中から考え生みだした附れの自作「公明選挙と青年の役割」の力づよい朗読があり、のちに市長さんはじめ来賓の祝辞、激励のことがあつた。

つづいて平泉寺町の柳町隆光君が成人を代表して、感謝のことが述べ、最後に、京大教授、重松俊明氏の「青年はいかに生きるべきか」の記念講演を約一時間半にわたり傾聴したが、成人たちは自分自身の今後の方向づけが、はつきりとさせられ、うなづくプロフイルが会場のあちこちに見られた

かくして本年度の成人式は興奮と感激のうちに、フィナーレを仕上げたが今日の最良の日を記念するの、愛用のカメラで、パチパチ写している成人グループもあり、記念品を手に、足どりもかるく新社会人は帰っていった。

みどりの朝
若人の聲から
生音がいが 溢れる
新しい 郷土づくりに働く
隣りが みちている
みどりの雨に
しるわせがみえる

成人感想論文の入選者
市教委では今年度の成人該当者から、成人感想論文の募集をしていきました。審査の結果つぎのみな

昭和三十三年七月二十七日
第三期 成人式
毎月十日(一週発行)

さんに決定し、二十一日の成人式に賞状と賞品を、本人に渡された。

第一席「公明選挙と青年の役割」
上崎雄紀雄君(下長瀬)

第二席「そんな事は社会からなくしたい」
田馬伴生君(平泉寺町)

第三席「公明選挙と青年の役割」
竹内和昭君(鹿谷町)

第四席「成人の権利と義務」
広瀬喜世子さん(立川)

第五席「住みよい社会を築くためにどうしたらよいか」
石川市郎君(北郷町)

第六席「こんな事は社会からなくしたい」
斎藤文雄君(下元塚)

ご協力ありがとうございました

昨年十月一日より三カ月間にわたり行なわれました。赤い羽根の共同募金運動は、みなさんの深いご理解と温かいご協力をいただいたおかげで、目標にたいして、一〇四％という好成績をあげることができました。

ここに募金の実績をつぎのとおり、ご報告し深く感謝します。ともに今後一層ご協力をおねがいいたします。

額	600円
目標	642,865円
募金	670,665円
内別	616,865円
1. 戸別	54,000円
2. 人口	54,000円
計	670,665円

35年度の共同募金104%の好成績



消防車の受納

去る七日、消防ポンプ自動車、損保号と名づけられて一台お目見えし協会側から葛西専務をはじめ関係者多数出席して市役所前で受納ならびに入魂式が行なわれました。

この消防車は全国の火災保険会社で組織されている日本損害保険協会が、当市の消防力を強めて建物を火災から守りその損害をすくなくするなど市民のしあわせのために寄贈されたものであります。この損保号は同日より消防団本部に配置されました。同車は装具性能はともにも最新の威力をそなえています。

◆飲料水は、衛生的で
便利な水道に改めま
しょう。

(市役所水道事務所から)

ている上に、やや小型なので市内殆んど地域に出動することが出来ます。

火の元には十分ご注意ください。もし火災発見のときは、すばやく消防本部(電話四〇〇番)へ知らせてください。

同車は昼夜の別なくいつでも出動できる態勢で待機しています。

写真も贈られた損保号の入魂式の式

弁天桜は十七、八日
頃満開
福井地方気象台は二十日、花見予報を出しましたが、それによると、ことは二月から三月中旬にかけての気温が平年に比べ一度ほど低かったため北陸では咲き始めもおくれ、勝山弁天桜は例年より一週間から十日おくれ四月十七、八日ごろが満開でしょうといっています。

異常の門(火の巻、柴田練三郎)。アイディア(遠藤健二)。おしやれ案内(マダム・マサコ)。波の塔(松本清張)。人喰い(笹沢佐保)。よい親、よくない親(品川孝子)。婦人指導者(生活科学調査会)。集会と会議の開き方、進め方(近藤唯一、大志万津治)。やくざ先生(西村滋)。裸の恋人(上、下、今東光)。夢を失わず(源氏鶏太)。おこまさん(菅井栄)。橋(大仏次郎)。年上の女(ジョン・ブレイン)。魔女宣言(火野五平)。白い風、赤い雲(井上靖)。白磁の人(舟橋聖一)。文法設問、伊勢物語の解釈と鑑賞(伴久美)。爪(水上勉)。孔雀長屋(大仏次郎)。夜の太陽(源氏鶏太)。大岡越前(吉川英治)。花のない季節(石川達三)。白子屋駒子(上、下、舟橋聖一)。河口(井上靖)。告ぐるうた(室生犀星)。ゼロの焦点(松本清張)。背徳のノス(黒岩重吾)。にせもの、ほんもの(野間浩六)。悪文(岩淵悦太郎)。家内安全(源氏鶏太)。生命の樹(高見順)。蒼き狼(井上靖)。どくとるマンボウ航海記(北杜夫)。人間の壁(中下編、石川達三)。まないたの歌(菅井栄)。頭をよくなる本(林隆)。

新刊図書ガイド

レジャーは観て。ノ